

ニュース&トピックス

ご利用頂いているお客様とともに 今年一年の収穫を喜び合う



▲ 会員と一緒に餅つきを行う子どもたち

農産物直売所きま杉ちよくんでは11月20日、今年1年の収穫と、いつもご利用いただいているお客様への感謝を込めて、恒例の『収穫感謝祭』を開催しました。

今年は屋内で、会員自慢の直売品や漬け物百円均一キャンペーンを実施。また、屋外では、収穫されたそば粉を使った「新そば」や、新米あきたこまちを使用した、つきたて餅のプレゼントが行われ、会場はたくさんの人で賑わいました。

このうち、つきたて餅のプレゼントでは、会場を訪れた人がもちつきを体験できるなど、直売会員と消費者と一緒に、収穫感謝祭を楽しみました。

二ツ井小学校5年生が オリジナル巻き寿司作りに挑戦



▲ 女性部員と一緒に巻き寿司に挑戦する児童

能代市立二ツ井小学校では11月25日、JA青年部が協力して、春に田植えをして秋に稲刈りを行ったお米を使い、JA女性部二ツ井支部員の協力のもと、5年生50人が巻き寿司作りに挑戦しました。

この取り組みは、JA食農事業の一環として行われているもので、二ツ井小学校で開催されるのは今回で2回目となります。

はじめに女性部員が児童らに巻き寿司の作り方を説明し、さっそく巻き寿司作りがスタート。児童らは、色とりどりの具材を使って巻き寿司を作り、みごと完成するとまわりから歓声が上がっていました。作った巻き寿司は児童らが家に持ち帰り、家族に振る舞われました。

万が一の場合に備えて JAで模擬防犯訓練を実施



▲ 犯人の特徴を捉える重要性についても確認

お金の出入りが多くなる冬の時期を迎え、防犯意識を高め、自主防犯対策の充実を図るのを目的に、JAのしろ北支店で12月8日、模擬防犯訓練が実施されました。

この訓練は毎年実施しており、能代警察署と協力して、非常事態における個々の職員の役割などについて、周知徹底を行っています。

訓練では、拳銃を持った強盗が窓口の女性職員を人質にとり、金を要求して車で逃走するという想定。職員らは即座に警察へ事件の詳細を通報し、逃げ去る犯人の車にカラーボールを投げるなど、非常事態への対応を完璧に行い、日々の危機管理への意識の高さを証明しました。

組合員とともにJAの事業を検討 管内4地区で支店運営協議会を開催



▲ のしろ東支店の支店運営協議会

JAでは12月14日と20日から22日までの4日間、JAの今後の事業などについて検討する、支店運営協議会を管内4地区で開催いたしました。

このうち14日に開催した、のしろ東支店の協議会では、はじめに袴田組合長が「今年は3月の震災やTPP問題、また天候不順による生育の遅れなど、激動の年でした。来年は地元での種苗交換会もあり、更なる栽培力向上を目指して、みなさんと一緒に頑張りたい。」と挨拶。その後の協議では、平成24年秋に稼働するカントリーエレベーターの進捗状況などが説明され、組合員からは活発な意見が出されていました。